

15.12.03

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

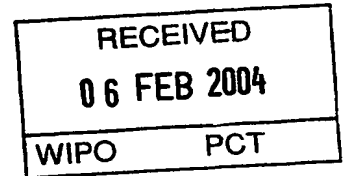
別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 4 月 4 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 0 1 6 3 0
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 1 0 1 6 3 0]

出 願 人 本 草 製 薬 株 式 有 限 公 司
Applicant(s):

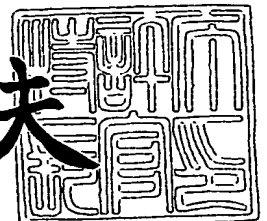


PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 1 月 2 3 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



【書類名】 特許願

【整理番号】 F03016

【提出日】 平成15年 4月 4日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 A46B 9/04

【発明者】

 【住所又は居所】 名古屋市天白区古川町 1 2 5 番地 本草製薬株式会社内

 【氏名】 山本 貢士

【特許出願人】

 【識別番号】 597097331

 【氏名又は名称】 本草製薬株式会社

 【代表者】 山本 貢士

【代理人】

 【識別番号】 100086520

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 清水 義久

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 053855

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 歯ブラシ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ヘッド部及びこれに続く首部と、把持部を備えた歯ブラシにおいて、前記把持部には吸盤が設けられていることを特徴とする歯ブラシ。

【請求項 2】 前記吸盤は、前記首部と反対側の前記把持部の先端に同軸状に形成され、先端側がラッパ状に拡開されていることを特徴とする請求項 1 に記載の歯ブラシ。

【請求項 3】 前記吸盤は、前記把持部の裏面に一体化されている弾性材部と同一素材で、該弾性材部と連続状に形成されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の歯ブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、歯ブラシに関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

従来、歯ブラシは、使用後に、洗面化粧台の収納棚内等の所定の位置に収納される。

【0 0 0 3】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 2 - 2 9 1 5 3 3 号公報

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

歯ブラシを使用後に収納する際に、歯ブラシに付着している水が収納棚内に流れ落ちる等して、収納棚内等に水が溜まり、不衛生な環境となってしまうという問題点があった。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記従来の問題点に鑑み案出したものであって、収納場所を選ばず、しかも水切りが良好なものとなる歯ブラシを提供せんことを目的とし、その第 1 の要旨は、ヘッド部及びこれに続く首部と、把持部を備えた歯ブラシにおいて、前記把持部には吸盤が設けられていることである。

また、第 2 の要旨は、前記吸盤は、前記首部と反対側の前記把持部の先端に同軸状に形成され、先端側がラッパ状に拡開されていることである。

また、第 3 の要旨は、前記吸盤は、前記把持部の裏面に一体化されている弾性材部と同一素材で、該弾性材部と連続状に形成されていることである。

【0006】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

図 1 は、歯ブラシの側面構成図であり、図 2 は、その正面図であり、図 3 は、背面図である。

【0007】

図において、歯ブラシ 1 は、ヘッド部 2 の下部に、連続状に首部 3 が形成され、更にその下方に連続状に把持部 4 が形成され、把持部 4 の下端に吸盤部 5 が形成されたものとなっている。

【0008】

僅かに前傾したヘッド部 2 には、植毛 6 が設けられており、首部 3 は、ヘッド部 2 の下端から徐々に前方側へ下傾した傾斜状に形成されて、この首部 3 の下端から、アール状に径を拡大させて、前記把持部 4 が形成されており、把持部 4 の下端部は徐々に径が縮小されて、吸盤部 5 に至っており、吸盤部 5 は把持部 4 の先端に同軸状に形成されて、先端側が拡開したラッパ状となっている。

【0009】

この吸盤部 5 は、把持部 4 の裏面に貼着等して一体化されている弾性材部 8 と同一素材で、弾性材部 8 と連続して吸盤部 5 は一体形成されており、例えばゴム材等の柔らかい材料で形成されている。

なお、把持部 4、首部 3、ヘッド部 2 は硬質樹脂で形成されている。

【0010】

なお、弾性材部 8 には、上下に間隔をおいて横方向に延びる 4 本の滑り止め突起 8 a, 8 a, 8 a, 8 a が背側へ突出形成されている。

また、この弾性材部 8 と反対側の把持部 4 の表面側には、首部 3 に近い位置に、縦長の楕円形状の親指当接部 7 が形成されている。

この親指当接部 7 には、柔らかい複数のひだ片 7 a, 7 a, 7 a を上下方向に間隔をおいて備えた部材が貼着されており、親指を前面側から当てることにより、それぞれのひだ片 7 a, 7 a, 7 a が変形して、柔らかいタッチで親指当接部 7 に親指を当てることができるように構成されている。

【0011】

なお、把持部 4 を握る場合には、親指を除く他の 4 本の指が、弾性材部 8 に当接し、滑り止め突起 8 a, 8 a により良好に滑り止めが成されるものである。

なお、この弾性部材 8 及び親指当接部 7、及び吸盤部 5 は、弾性素材で形成されているため、把持部 4、首部 3、ヘッド部 2 とは異なる色にして、歯ブラシ 1 全体の意匠性を高めることができるものである。

【0012】

本例の歯ブラシ 1 においては、把持部 4 の先端に吸盤部 5 が形成されているため、例えば図 4 に示すように、吸盤 5 を壁面等に押し当てて、歯ブラシ 1 を水平状態にして保持させておくことができるものとなる。

図 4 では、洗面化粧台 10 の下部に洗面器 11 が設けられ、洗面器 11 の上面側には水栓 12 が設けられており、洗面器 11 から上方へ立ち上げて、洗面化粧台 10 を構成するキャビネット板 13 が立設されており、キャビネット板 13 には、収納棚 14 が取り付けられ、収納棚 14 の前面には鏡 15 が設けられている。

【0013】

このような洗面化粧台 10 の、例えば洗面器 11 の上方のキャビネット板 13 に、歯ブラシ 1 の吸盤部 5 を押し付けて、水平状に歯ブラシ 1 を保持させておくことができ、歯ブラシ 1 の植毛 6 を、洗面器 11 の上方へ配置させて保持しておくことができるため、植毛 6 に付着した水滴等は良好に洗面器 11 内に流下し、

衛生的なものとなり、良好に歯ブラシ 1 の植毛 6 を乾燥させて、清潔に維持することができるものである。

【0014】

なお、その他、歯ブラシ 1 は、鏡 15 の前面に吸盤 5 を介して水平状に保持させておくこともでき、更には、吸盤 5 を洗面器 11 の上面に吸着させて、洗面器 11 の隅角部等に歯ブラシ 1 を立設状にして収納させておくこともでき、収納場所を選ばず、従来のように歯ブラシ用の収納棚やコップを別途必要とせず、洗面化粧台の周辺の好みの場所に吸盤 5 を吸着させて、良好に歯ブラシ 1 を収納させることができるものとなる。しかも、収納状態で良好に水切りできるために、清潔に維持できるものとなる。

【0015】

【発明の効果】

本発明の歯ブラシは、ヘッド部及びこれに続く首部と、把持部を備えた歯ブラシにおいて、前記把持部には吸盤が設けられていることにより、吸盤を介して洗面化粧台や洗面器等の好みの場所に、歯ブラシを吸着保持させておくことができ、収納場所を選ばず、別途、歯ブラシ用の収納棚やコップ等を必要とせず、良好に歯ブラシを収納させておくことができ、しかもワンタッチで吸盤を押し付けることで、あらゆる場所に歯ブラシを保持させることができ、取り扱いが容易となる。

また、保持させた状態で良好に水切りを行うことができ、清潔に維持できるものとなる。

【0016】

また、前記吸盤は、前記首部と反対側の前記把持部の先端に同軸状に形成され、先端側がラッパ状に拡開されていることにより、植毛のあるヘッド部とは反対側に吸盤が設けられており、ヘッド部に手を触れることなく、吸盤を良好に洗面化粧台等の部分に押し付けて吸着させ、良好に歯ブラシを保持させることができるものとなる。

【0017】

また、前記吸盤は、前記把持部の裏面に一体化されている弾性材部と同一素材

で、該弾性材部と連続状に形成されていることにより、硬質の把持部、首部、ヘッド部とは別の柔らかい素材で、弾性材部と連続して吸盤を形成させることができ、良好に把持部と吸盤が一体化され、しかも意匠性が高められるものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

歯ブラシの側面構成図である。

【図 2】

歯ブラシの正面構成図である。

【図 3】

歯ブラシの背面構成図である。

【図 4】

歯ブラシを水平状態に吸盤を介し保持させた状態の斜視構成図である。

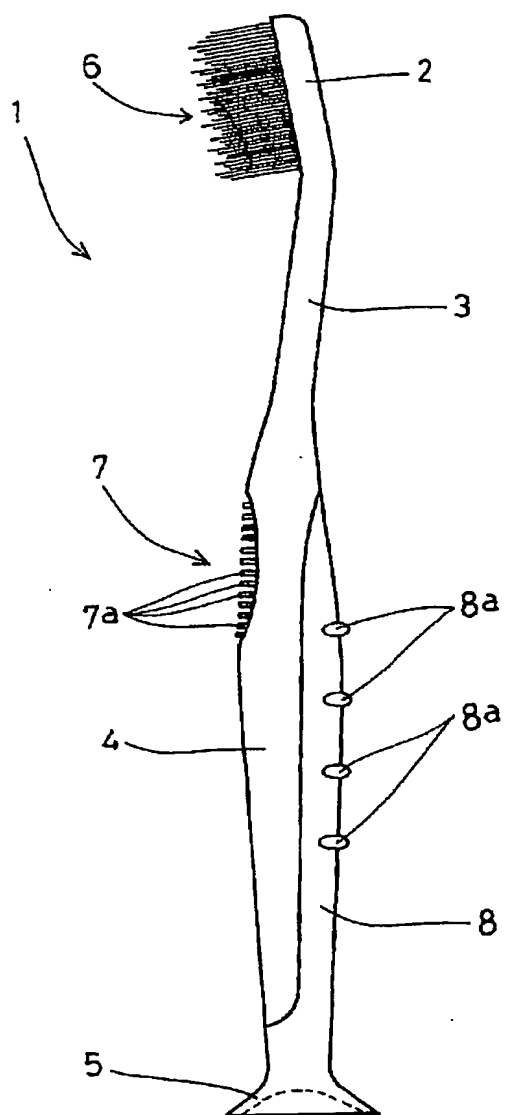
【符号の説明】

- 1 歯ブラシ
- 2 ヘッド部
- 3 首部
- 4 把持部
- 5 吸盤部
- 6 植毛
- 7 親指当接部
- 7 a ひだ片
- 8 弾性材部
- 8 a 滑り止め突起
- 10 洗面化粧台
- 11 洗面器
- 13 キャビネット板
- 15 鏡

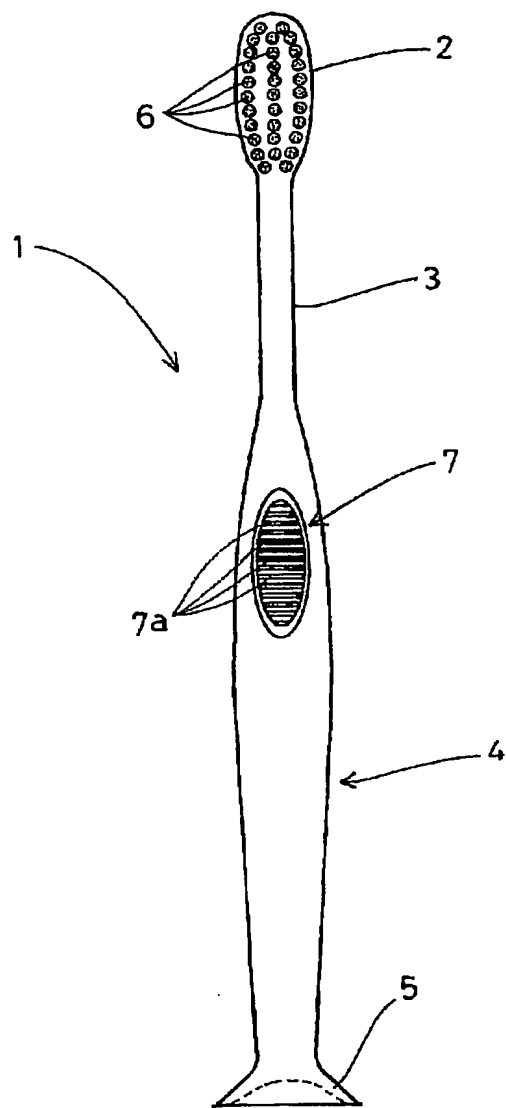
【書類名】

図面

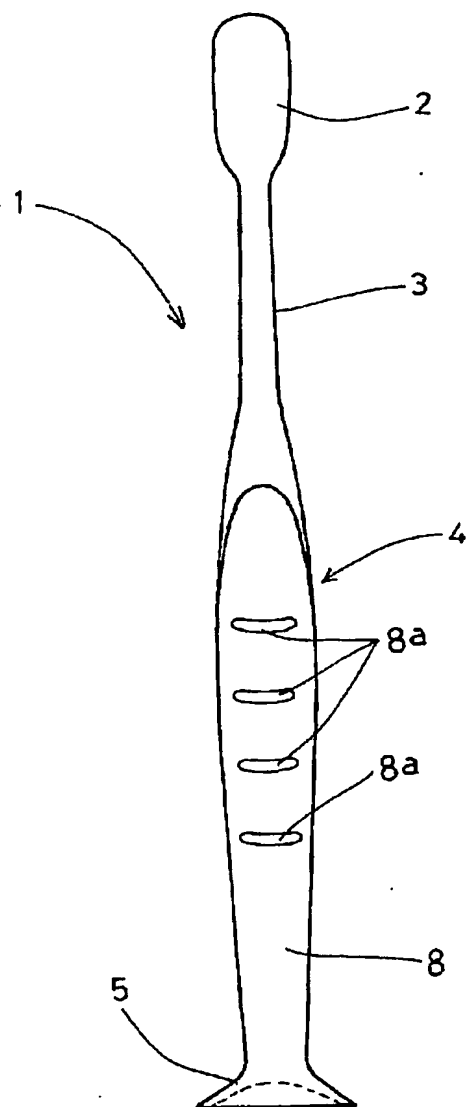
【図 1】



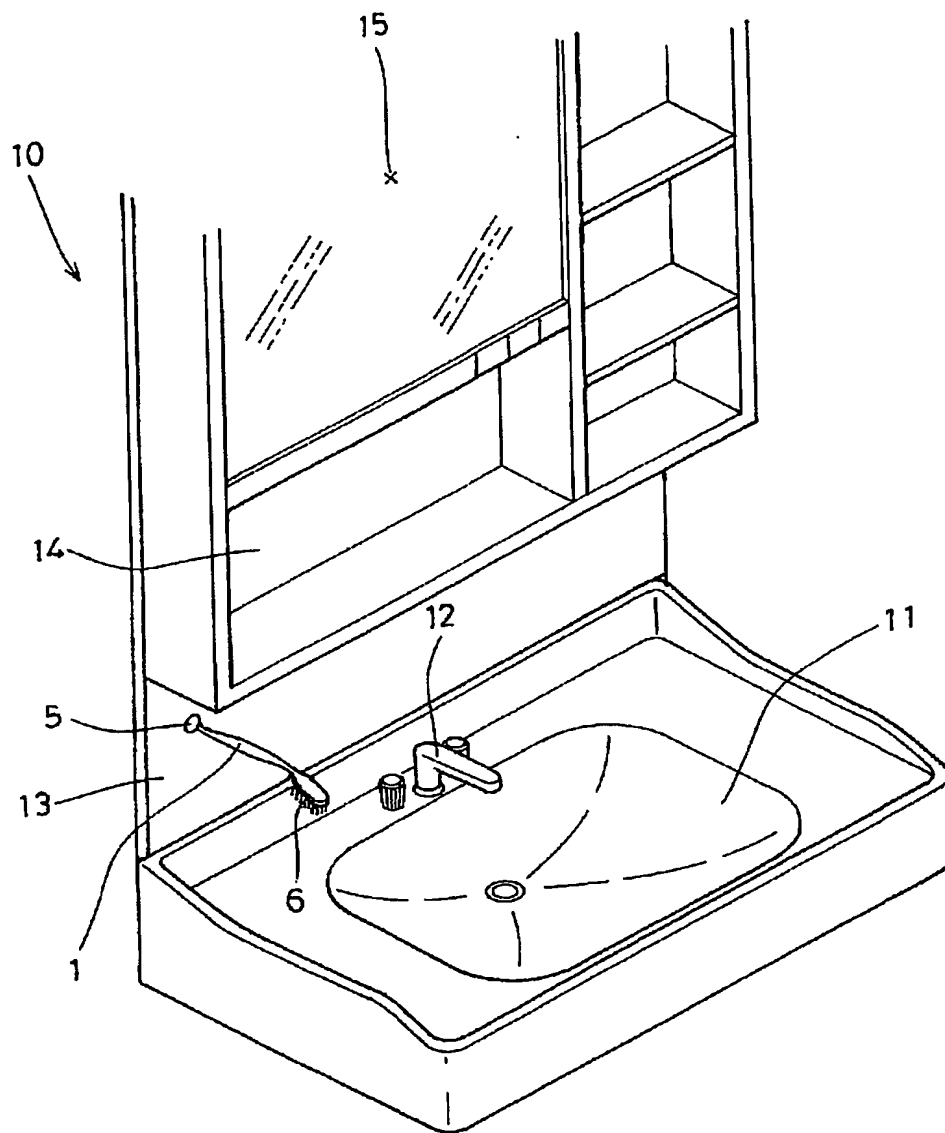
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 良好に収納することができ、しかも清潔に維持できる意匠性に優れた歯ブラシの提供を目的とする。

【解決手段】 ヘッド部 2 及びこれに続く首部 3 と、把持部 4 を備えた歯ブラシ 1 において、把持部 4 の首部 3 と反対側の先端には、同軸状に吸盤 5 が形成され、吸盤 5 は、その先端側がラッパ状に拡開され、弾性材部 8 と同一素材で形成されている。

【選択図】 図 1

特願 2003-101630

出願人履歴情報

識別番号

[597097331]

1. 変更年月日

1997年 6月23日

[変更理由]

新規登録

住所

名古屋市天白区古川町125番地

氏名

本草製薬株式会社